

報道関係各位

2014 年 年頭社長挨拶(要約)

株式会社 ツムラ

株式会社 ツムラ

コーポレート・コミュニケーション室

広報グループ 担当：犬飼 律子

TEL : 03-6361-7100

変わらなければならないのは、私たちの「意識と行動」

新年、あけましておめでとうございます。

昨年は、当社にとって創業120周年という、たいへん大きな節目の年でありました。今年は、新たなステージへのスタートとなる重要な年となります。全部門において、これまでの活動内容をしっかり振り返り、足元の状況を正しく把握するとともに、今一度、それぞれの活動の原点に立ち返り、基本に忠実に取り組んでください。そして、皆さん一人ひとりが深く考え、目標をしっかり見据えて課題を明確にしてください。

当社は、「国内のどの医療機関・診療科においても、患者様が必要に応じて“漢方”を取り入れた治療を受けられる医療現場の実現に貢献」することを、2021年ビジョン（“漢方”のツムラ）として掲げ、様々な活動に取り組んでいます。2013年度は、卒前、卒直後、卒後の一貫した漢方医学教育の支援において、これまで続けてきた活動に加えて、特に臨床研修指定病院へのアプローチを強化しています。

我々が目指すビジョンの実現に向け、まだまだゴールである山の頂は遠くに見えます。しかし、目指すべき山をしっかり認識し、正しい方向へ道を登り続ければ、必ず頂上に到達することができるはずです。大事なことは、一步一步着実に前進しつづけ、決してあきらめない強い気持ちを持ち続けることです。

私たちは、「一人ひとりが成長することによって、はじめて会社は成長する」という信念のもと、“人”の成長と組織力の向上に重点を置き、「一人ひとりが使命感に燃え、チームプレーで大きな成果を生み出すグループ企業の実現」を目指しています。

また、物事に取り組むときは、その本質をよく見極め、深く考えることが何よりも重要です。自分自身で常に考え、判断することを繰り返すことで、正しく行動できるようになります。会社や組織が何をしてくれるかではなく、自分が組織や会社に何ができるか、医師をはじめとした医療従事者や患者様の皆様に何をすべきかを深く考え、固い信念のもと行動することが大切です。

TU-100大建中湯の米国開発は、多くの人々の知恵や技能を必要とし、組織横断的なチームワークにより進めている大きなプロジェクトです。植物を中心とした多成分系の複合製剤である漢方製剤の米国での開発は、過去に例がありません。世界に手本のない漢方・生薬事業において、自らが新しい道を開拓しなければなりません。TU-100の米国開発はその最たるものであり、漢方製剤の評価を世界的に高めることになると同時に、これが植物薬のグローバルスタンダードになっていく可能性も高いと考えています。組織間の強固な協力体制と一人ひとりの熱意で対応し、是非乗り越えていきたいと思っております。

2021年ビジョンの実現を見据えた、第一期中期経営計画（2012－2015年度）においては「価値創造に向けた成長基盤の強化」をテーマとして掲げています。2年目となる今期（2013年度）は、経済状況や為替動向など、中期経営計画策定時には想定していなかった、大きな経営環境の変化に直面しています。しかし、当社を取り巻く環境がどのように変わろうとも、漢方・生薬事業の価値は変わることはありません。目指すべきビジョンも、果たすべき役割も変わることはありません。外部環境の変化に合わせて変わらなければならないのは、私たちの「意識と行動」です。環境の変化に一人ひとりが機敏に対応して、「本来あるべき姿」を貫いていく覚悟が必要です。

私たちは、日々「革新」し続けることによって「歴史」を刻み、一年一年の「歴史」を積み重ねることによって、更なる「ツムラの伝統」を築きあげることができます。

全員が同じ方向へ力を合せ、最善を尽くしていくことを、年始にあたり皆さんと一緒に決意したいと思います。

以 上